学校番号	1201

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	子ども文化	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「子ども文化」　（教育図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇子どもの遊びや表現活動、児童文化財に関心をもち、積極的に取り組みましょう
・子ども文化の意義、子どもの心身の発達に及ぼす遊びの重要性などについて学びます。
・実践的・体験的な学習を通して、子ども文化の充実を図る力を身に付けます。
・子どもに積極的にかかわることができるよう力をつけましょう。

２　学習の到達目標

子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識と技術を習得させ、子ども文化の充実を図る能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子ども文化に関心をもち、その充実・推進に向けて、積極的に取り組もうとする意欲と態度を身に付けている。	子ども文化を総合的に捉えて充実させるために，創意工夫し表現する能力を身に付けている。	子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財などに関する技術を身に付けている。	子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作物 レポート 発表 自己評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作物 レポート 発表 定期考査 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作物 レポート 定期考査 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作物 レポート 発表 定期考査　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。
定期考査は年３回実施します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1学期	子ども文化の重要性	自身の子ども時代の遊び 最近の子どもの遊び	○	○	○	○ ○	a:子ども時代の遊びや文化活動にどのような意義があるか考えようとしている。 b:現代と以前の子どもの遊びについて具体的に考え、まとめたり発表したりしている。 c:子どもの遊びについて、情報を収集・整理することができる。 d:子どものための文化活動、児童文化財、児童文化施設などの重要性を理解している。	授業観察 ワークシート レポート 自己評価 定期考査
	子どもと遊び	遊びと発達 遊びと運動 遊びと認知 遊びと情操 遊びと言語 遊びと社会性 遊びと遊具 遊具の条件 遊具の製作	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:遊びが子どもの発達をどのように導くのか考えようとする。 条件を満たす遊具を考え、製作に主体的に取り組む。 b:遊びと発達との関わりについて、考えてまとめたり、発表したりしている。 安全性や耐久性に配慮して、遊具の製作を工夫する。 c:具体的に適切な遊具を選んだり、製作したりできる。 d:遊びを通して子どもの心身の発達や健康の保持増進がなされることを理解している。	授業観察 ワークシート レポート 製作物 発表 自己評価 相互評価 定期考査
2学期	子どもの表現活動と児童文化財	造形表現活動 粘土遊び 砂遊び 描画活動 折り紙 言語表現活動 おはなし 絵本 紙芝居 人形劇 音楽・身体表現活動 歌、楽器 リズム遊び 情報手段などを活用した活動 テレビ インターネット	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:子どもの表現活動の意義について考えようとする。 児童文化財の製作に意欲的に取り組む。 b:子どもの発達段階にあわせて、表現活動の内容や児童文化財について考え、工夫している。 c:児童文化財の製作に主体的に取り組める。 d:子どもの表現活動の意義を理解している。 児童文化財の重要性を理解している。	授業観察 ワークシート レポート 製作物 発表 自己評価 相互評価 定期考査

3学期	子ども文化を支える場	児童文化施設 地域の児童文化施設 子どものための各種施設 商業施設の活用	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a:子どもの遊びや表現活動を支える施設の意義や活用法を考えようとする。 b:子どもに対して施設が果たす役割を 資料を活用して考え、まとめたり、発表したりしている。 c:児童文化施設などについての情報を収集・整理することができる。 d:児童文化施設などの種類や目的を理解している。	授業観察 ワークシート レポート 自己評価 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。